

事業所名

児童発達支援 どんぐり

支援プログラム

作成日

令和6年

3月

25日

法人（事業所）理念		私たちはどんぐりが成長することがよりよい日本の福祉社会をつくる力になると信じています					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション支援の専門性を活かした特別支援</li> <li>・「伝えたい」、「わかる」経験を通じた自己肯定感の育成</li> <li>・遊びや日常活動を通して自然に学べる支援環境の提供</li> </ul>					
営業時間		11時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠、食事、排泄などの基本的な生活習慣の安定、身だしなみや清潔保持の促し</li> <li>・トイレトレーニング、更衣動作、手洗いうがいなどの衛生管理、食事支援</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の使い方を身に着け日常生活や集団活動への参加をスムーズにする</li> <li>・粗大的な運動活動（サーキット、風船バレー、公園遊び等）、巧緻的な運動活動（クッキング体験、制作活動等）</li> <li>・感覚の過敏や鈍麻に対応し、安心して過ごせる環境を整える</li> <li>・個別の感覚過敏への配慮、感覚遊び</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況を理解し適切に行動できる力をつけ、自己で行える活動の拡大を図る</li> <li>・構造化、視覚支援</li> <li>・集中力・注意力・記憶力などの高次脳機能の向上はかり学習や集団生活に参加しやすくする</li> <li>・注意訓練、認知訓練</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや欲求を適切に伝える力を育てる</li> <li>・STによる言語、コミュニケーション訓練（言語聴覚療法）</li> <li>・適切な発音や口腔器官の運動能力を身に着ける</li> <li>・構音訓練、口腔器官の運動活動</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係や社会生活に必要なスキルを身に着け円滑なコミュニケーションを獲得する</li> <li>・SST、買い物支援、地域への外出活動、集団療育</li> </ul>					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での悩みごとの共有：保護者会の実施</li> <li>・定期的な施設で様子の報告：STによる現状の介入目的や訓練内容についての説明</li> </ul>			移行支援	保育園、幼稚園、他事業所との連携	
地域支援・地域連携		通園先の保育所と連携を図り、子ども様子や発達状況に関する情報を共有し、困りごとなどを知る			職員の質の向上	定期的な職員会議の実施 職員の各種勉強会や研修の参加	
主な行事等		<p>季節の行事を積極的に取り入れて、仮装をしたり、行事のテーマにあったゲームを取り入れることにより文化や伝統に触れられよう提供している</p> <p>外出：子ども食堂やマクドナルドに行って公共の場で食事のマナーや楽しむなどの経験を増やしている。動物園、下水道科学館、防災センターなどに行き、体験することで探究心や知的好奇心思考力を育む</p> <p>制作：指先を使うマジックやハサミ、のりなどに触れ作る楽しさや出来た喜びを体験する</p> <p>おやつ作り：おやつ作りを通して食材、料理器具などに触れ使い方を知ったり、おやつへの興味が深められるようにする</p>					